

中津警察署協議会

第4回会議の開催状況

第1 開催月日

令和6年2月27日（火）

第2 出席者

協議会 委員 6名
警察署 署長、副署長、刑事官、総務課長、会計課長、留置管理課長、地域課長、
刑事課長、交通課長、警備課長 10名

第3 議事の概要

- 1 業務説明等
警察署から
・ 管内概況
・ 業務推進状況
について説明がなされた。
- 2 質疑応答等
(1) 協議会会長から、警察署協議会代表者会議の結果について報告が行われた。
(2) 委員から、薬物事犯の検挙状況等について質問がなされ、警察署から「県内全般の状況として、大麻所持事犯の検挙事例が増加し、覚醒剤の使用や所持の検挙を上回るようになってきている。若年層に対する広がりも懸念される状況にある。」旨の説明がなされた。
(3) 委員から、児童等に対する声かけ事案に関し、登下校の見守り活動を行う人の挨拶等（善意の声かけ）が通報された事例の有無等について質問がなされ、警察署から「登下校児童に対する見守りのための声かけは、今のところ前兆事案として上がっていないので、心配することなく見守りと声かけを継続してもらいたい。」旨の説明がなされた。
(4) 委員から、交通違反取締りに関する質問がなされ、警察署から「現在、当署では、交差点関連、特に信号に関連する交通違反取締りや歩行者の保護に直結する交通違反の取締りに注力している。違反情報をお寄せ頂ければ、取締りに役立てていきたい。」旨の説明がなされた。
- 3 諮問事項に対する答申
協議会委員より、本年度の当署諮問事項「魅力ある職場づくり」に対し、
ア 朝礼、ミーティング等を活性化し、情報共有を図り、効率の良い業務、職員間における共助姿勢の醸成を実現してもらいたい。
イ 丁寧な休暇制度の周知を行い、取得者だけでなく、周囲の同僚に対する理解を促し、休暇の取得促進に努めてもらいたい。
ウ 教養機会の確保やマニュアルの活用などにより、ミスをおそれず、前向きに士気高く業務に取り組める環境作りを進めてもらいたい。
エ 若手警察官のニーズに応じた実践的な教養機会を多く設けてもらいたい。
オ 若手警察官育成推進のため、指導者の能力向上も行ってもらいたい。
カ 職員間の良好な関係の構築や体力錬成のため、術科訓練を推進してもらいたい。
旨の答申がなされた。
- 4 その他意見等
(1) 委員から、諮問事項『魅力ある職場づくり』に関し、「私たちのような第三者が客観的に見て、警察官の勤務環境改善に関する声を挙げていくことが、署員のよりよい職場環境づくりに繋がると思うので、今後も署員の皆さんの職場環境に触れるような機会を設けて頂きたい。」旨の意見がなされた。
(2) 委員から、『若手職員の育成』について、「警察だけでなく、民間においても非常に難しい課題だが、時代の変化に合わせてこれに取り組み、人材の確保や育成を図ることは非常に大切だ。警察でも世代間のギャップはあるだろうが、若手と先輩がお互いに寄り添い補っていくことが大事だと思うので、答申を参考に術科訓練等を推進してもらいたい。」旨の意見がなされた。
(3) 委員から、当署諮問事項に対する答申に関し、「志をもって入ってきた若い人たちが、のびのびとやり甲斐と成長を感じながら仕事に取り組んでいける職場環境づくりの一助になればと思う。是非今後の活動に活かして欲しい。」旨の意見がなされた。